

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定 運用状況(2009年8月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCI KOKUSAIインデックスを上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	955,309	94.3%
現預金・その他	58,098	5.7%
合計	1,013,408	100.0%

運用状況

2009年8月の世界株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で4.08%の上昇となりました。経済指標の改善や予想を上回る企業決算を受けて、景気底入れ期待が高まる中、底堅い値動きとなりました。米連邦公開市場委員会は政策金利を0.25%に据え置き、声明文では景気が底入れしつつあるとの見方が示されました。外為市場では日本円が上昇し、ドル・円相場は2.55%の円高、ユーロ・円相場は1.36%の円高となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.99%上昇しました。

当特別勘定では、資産規模を勘案し、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

8月は資金流入に合わせて「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」の購入を行いました。

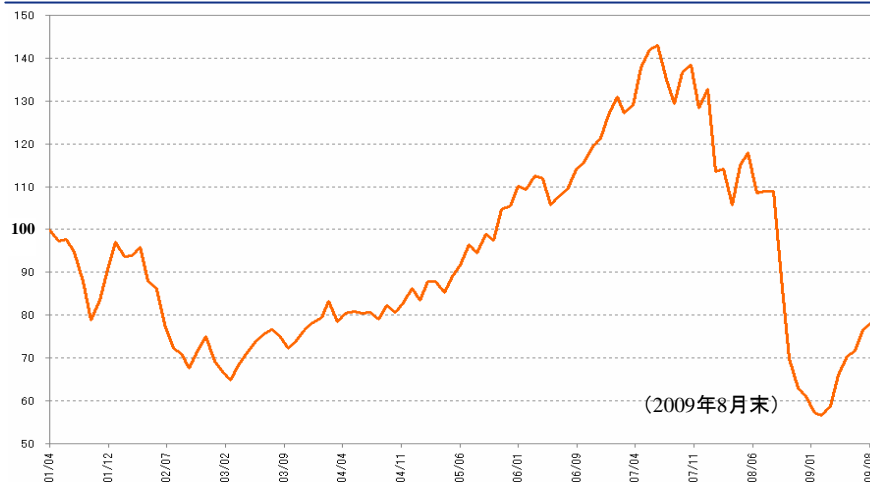
9月についても、マルチ・マネージャー型の「ラッセル外国株式ファンドI-4B」を中心とした投資を継続する方針です。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
78.21202024	+1.99%	+10.95%	+37.99%	▲28.17%	▲31.35%	▲1.09%	▲21.79%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4B (62.0%) : p20上段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) (32.2%) : p20下段
現預金・その他 (5.7%)

(注)「p20上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。